

別紙 2

異文化理解促進プログラム協力講師 自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：于旻崢

職業：学生

所属：広島大学人間社会科学研究科

専門分野：教育学プログラム

日本語レベル：N1 109点

英語レベル：中級

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：

愛媛大学に1年間留学し、松山市立小学校で講演を行い、ボランティアとして農家のみかん狩りの手伝いに参加した。

広島の児童・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：

児童・生徒が中国文化のさまざまな側面に触れ、それを知った上で、異文化に接し、その特質を理解しながら深く考えることができるようになることが期待されます。

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：

中国から于旻崢と申します。私は現在、広島大学で教育学を専攻し、修士の1年目を迎えています。修士になる前に数年間中国で働き、愛媛大学にも1年間交換留学生として滞在していました。この1年間の留学で、私は日本文化を深く愛するようになり、私を助けてくれた日本人の優しさに感動しました。残念ながら、この1年間はあまりにも短く、日本文化や日本語について十分に学ぶことができなかったため、再び日本に留学することを思い立ちました。帰国後、コロナのせいで何度も挫折して2年かかったものの、自分の夢のためにはすべて価値があったと思っています。勉強や研究だけでなく、もっと文化交流活動に参加し、中国と日本の架け橋として貢献したいです。日本の学生が外国の文化を新たに理解し、グローバルで多様な社会の中で自分の価値を見出すことができるようになることを願っています。